

牧師室から (2022.1.16)

街を歩いていると、所々で更地になり、新しい建物が建てられているのをよく見かけるが、見慣れているはずなのに、元の建物や景色が思い出せないことがある。それは普段から習慣として、意識からカットしているからに違いない。私共には多くの情報が毎日入り込んでいるが、それらについてすべて意識化していたら疲れてしまうので、適当に自分に必要なものだけを覚えておいて、後は流しておいているのだろう。

私共の教会で、正面に向かって右側真ん中の壁の上に、一つ扇風機が欠けているのに最近になって気がついた。ところがそこに元々あったのか、或いは欠けていたのかが思い出せない。扇風機はいくつもあるものだから、普段意識せずに使っていたのであろう。何人かの信徒に訊いても、同じようにその存在は曖昧であった。しかしそこに設置できるようになっているので、初期にはあったに違いない。でもいつ頃から取り外されたのだろうか。もしかすると、昨年のアドヴェント前の大掃除の時にはずしたのかもしれないが、もしこれについて意識されている方は教えて頂ければ幸いである。

毎年夏の暑い時期にお世話になっていたものを、意識からカットしていたのは何だか悪い気がした。

(鈴木淳一牧師)